

非常時の備蓄については、皆さんそれぞれが、準備をされていると思います。

飲料水、食料品を、防災用として準備されている方、また、特別に災害用としてではなくても、缶詰やインスタント食品、レトルト食品や野菜ジュースといった日持ちのする普段使いの食品を多めに買って、準備されている方もおられるでしょう。

さて、備蓄を考える時、どうしても食べるもののことを一番に考えてしまいます。

しかし、それと同じくらい考えておかなければいけないのが、トイレです。

今回は 災害時のトイレについて、確認しておきたいと思います。

災害時には、水洗トイレは使えないと思ってください。断水して水がでない、また、水が出たとしても、排水菅が壊れているかもしれません。災害が起きた時は基本、トイレは簡易トイレを使うこととなります。

簡易トイレ

防災用品売り場には様々な簡易トイレが並んでいます。簡易トイレは、袋を使って用を足したあと、凝固剤や、消臭剤を使って排泄物を衛生的に処理して使います。

食料品と同じだけの1週間分は備蓄しておくことをお勧めします。(トイレットペーパーも)

普段あるもので簡易トイレの代用はできるか？

1 既存の便器が使える時 (便器が壊れていない時)

- ① 便座を上げて、ポリ袋1枚を広げ便器を覆うようにセットし、便座を下ろします。
- ② もう1枚ポリ袋を広げて、便座を覆うように重ねます。(これで、袋は2重になる。)
- ③ 2枚目のポリ袋の中にちぎった新聞紙を置きます。(新聞紙が水分を吸収)
- ④ 用を足し終わったら、2枚目のポリ袋をとって、しっかり口を結んで捨てます。



2 便器が破損している時

- ① バケツや段ボールを用意し、ポリ袋を広げ、2重に被せます。
- ② ポリ袋の中にちぎった新聞紙を置きます。
- ③ これだけでは、うまく座って用を足すのは難しいので便座があれば良いと、なりますので、段ボール箱の調達と一緒に、あらかじめ、DIY(工作)で段ボール製便座を作っておくといいかもかもしれません。(段ボールにカッターナイフで楕円の穴を開けます。強度を上げるため 3枚作ってガムテープで張り合わせるのがお勧めです。)
- ④ 便座をバケツまたは段ボール箱にのせて用を足します。(段ボール箱の強度に注意)
- ⑤ 用を足し終わったら、2枚目のポリ袋を取ってしっかり口を結んで捨てます。

ここで一番の問題はにおいと、液体の吸収です。今回は、新聞紙を使いましたが、紙おむつや、ペット用トイレシート、猫砂、においては粉末洗剤、重曹、酸素系漂白剤を使うと効果があります。(市販の便袋はやはり、消臭、防臭、衛生面に優れています)

いざというときに慌てなくていいように、備蓄品もいろんな角度から見直して、時々入れ替えをしたり、追加したりしてみてください。